学科の目標（３つのポリシー）

公務員総合学科

【ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）】

公務員総合学科では、多様化・複雑化した現代社会に対応できる広い視野と柔軟な発想を持った自律的な職業人を国家、地域社会に送り出す。

1．自己管理能力、自己理解力：国家や地域社会の問題に関心を持ち、幅広い知識・教養・技術を身につけることができる。自身が置かれた環境を認識し果たすべき役割を理解するとともに、その実現に向けた自律的行動ができる。

2．使命感・倫理観：国家や地域社会への愛着を持ち、他者との協働の重要性を理解し、行動することができる。全体の奉仕者になるための使命と責務を自覚し、高い倫理観のもと、公正・誠実に対応することができる。

3．コミュニケーション能力：良好な対人関係を築くために、社会人としての基本的礼儀作法を身につけ、文章作成やプレゼンテーションを適切に実施することができる。自らの意見を分かりやすく表明し、自らの提案や意見を的確に理解させ、議論することができる。

4．基礎的な実務処理能力（業務遂行能力）：国家、地方公共団体等において、与えられた担当業務を正確かつ迅速に処理するための知識・技能に基づく基礎的な実務処理能力（業務遂行能力）を身につけている。組織の目標や課題を正確に把握するための計画や施策等に関する基礎的な知識を理解している。

【カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施方針）】

ディプロマポリシーに掲げる知識や能力を学生が体系的かつ主体的に身につけられるようにカリキュラムを編成し教育を実施します。

1．公務員受験に必要な科目は、１年次に基礎的知識学習し、２年次に応用的知識を学習します。

2．公務員実務能力に必要な科目は、１年次に基礎的知識を学習し、２年次に応用的知識を学習します。

3．チームで働く力、主体性、課題発見力、地域貢献、コミュニケーション能力を養成する科目は、在学期間を通して行います。

4．２年次には、学習の集大成として、卒業研究・卒業論文を行います。

【アドミッションポリシー（入学者の受入れ方針】

1．求める人物像

・地域社会で積極的に活動する意欲を持ち、地域社会が抱えている様々な公共的課題に関心がある人

・学問的に学ぶための論理的思考力を備えた人

・国家や地方公共団体に、全体の奉仕者として貢献したい意思を持つ人

・自己管理と自己啓発を行い、向上心がある人

公務員学科

【ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）】

公務員学科では、公務員試験に関する基礎的知識をもとに、公共政策、地域社会に関する幅広い知識を専門力として獲得し、現代の地域社会が当面する公共的諸問題に対応できる力を持った人を送り出す

1．奉仕の精神：地域社会、国際社会に貢献できる奉仕の精神を身につけることができる。
2．幅広い教養力：公務員初級試験合格に必要な教育科目の知識、作文に対する記述力、適性試験を解答する能力、面接試験に対応できるコミュニケーション能力を身につけている。
3．人のために尽くす：『全体の奉仕者』という意味を理解し、『人のために尽くす』ことの大切さを身につけている。
4．倫理観：高い倫理観を持ち、国民、住民から信頼されるように努力する姿勢を身につけている。

【カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施方針）】

ディプロマポリシーに掲げる知識や能力を学生が体系的かつ主体的に身につけられるようにカリキュラムを編成し教育を実施します。

1．めざす職種や公務員試験に特化した講義、演習、模擬試験の科目は、基本から応用まで学習します。
2．広い視野と柔軟な発想の基礎となるように、各所の視察、研修、ガイダンスを行う。
3．チームで働く力、主体性、課題発見力、地域貢献、コミュニケーション能力を養成する科目は、在学期間を通して行います。

【アドミッションポリシー（入学者の受入れ方針】

1．求める人物像
・国家や地方公共団体に、全体の奉仕者として貢献したい意思を持つ人
・自己管理と自己啓発を行い、向上心がある人